

# 切除不能肝細胞癌切除不能肝細胞癌に対するアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法により完全奏効が得られた症例における再発に寄与する因子の探索

## 1. 研究の対象

2018 年 4 月から 2024 年 3 月までに、1 次治療もしくは 2 次治療としてアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を開始され、薬剤抵抗性病変を認めた切除不能肝細胞癌の患者さん

## 2. 研究の概要

研究期間：総長の研究実施許可日～2029 年 12 月 31 日

研究目的：切除不能肝細胞癌では抗がん剤の開発に伴い、治療効果は改善しました。また最近では、抗がん剤とラジオ波焼灼療法や手術、経動脈カテーテル化学塞栓療法や放射線治療などの局所治療を併用することにより、完全奏効率が向上しています。しかしながら、切除不能肝細胞癌の予後は未だ悪く、完全奏効した症例やその後の再発を解析することにより、肝細胞癌の新たな知見を得て、予後が改善することを目指し、本研究を行います。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、抗がん剤治療の治療歴、併用治療（ラジオ波焼灼術や放射線治療）の有無、画像検査、血液検査、合併症等の発生状況、カルテ番号等

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 肝胆膵内科 副部長 中堀 輔

住所：〒541-8567 大阪市中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上